

強者の戦略

2020 年度 東大地理 第 1 問〔問題編〕

日本列島の自然環境にまつわる出題です。東大らしい、手がつきそうで手がかからない問題だったと思います。中学受験対策で習うような内容が多かったので、社会を真剣に勉強する小学生時代を過ごしてきた人の平均点は高そうな気がします。では、今の力でどれだけ太刀打ちできるのか、この 1 週間で頑張ってみてください。

【2020 年度 東京大学 文科前期 第 1 問】

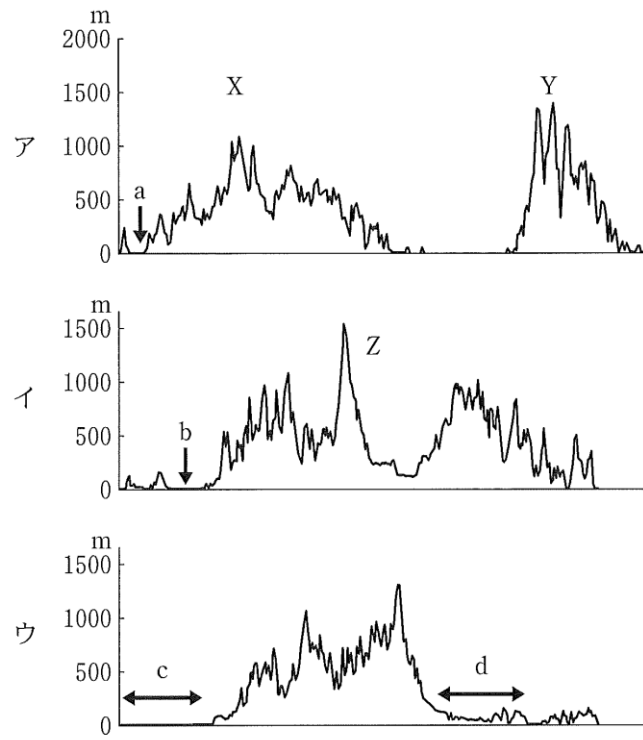
日本列島の地形と自然資源利用に関する以下の設問 A～B に答えなさい。解答は、解答用紙の(イ)欄を用い、設問・小問ごとに改行し、設問記号・小問番号をつけて記入しなさい。

設問 A

図 1-1 は、日本列島の地形断面である。断面ア～ウの位置は、図 1-2 中の線分①～③のいずれかに対応している。各段面の左・右端は日本海・太平洋にそれぞれ面し、各断面の水平距離の縮尺は共通している。

- (1) X 山地と Y 山地の地形的特徴の違いを述べるとともに、Y 山地でそのような特徴が生じた理由として考えられることを、以下の語句をすべて用いて、あわせて 2 行以内で述べなさい。語句は繰り返し用いてもよいが、使用した箇所には下線を引くこと。
内的営力 外的営力
- (2) Z 山脈は、断面イにおいては、両側の山地とは大きく異なる形状を示す。その理由として考えられることを 1 行で述べなさい。
- (3) a と b は元来同じ環境であったが、b は 20 世紀半ばに人工的に形成された土地である。この大規模地形成業がなされた社会的背景を 1 行で述べなさい。
- (4) c と d はいずれも大規模な平野であるが、卓越する地形が異なる。それぞれ平野で卓越する地形と農業形態の特徴を、あわせて 2 行以内で述べなさい。
- (5) 地形断面図は、水平方向よりも鉛直(高度)方向に拡張して描かれることが多い。ア～ウに共通した、水平方向に対する高度方向の拡張率は、おおよそ何倍程度と見積られるか、有効数字 1 桁で、 $k \times 10^n$ 倍のように答えなさい。k は 1, 2, 5 のなかから選び、n には最も適した整数を記しなさい。

強者の戦略



地理院地図(国土地理院)を用いて作成。

図1-1

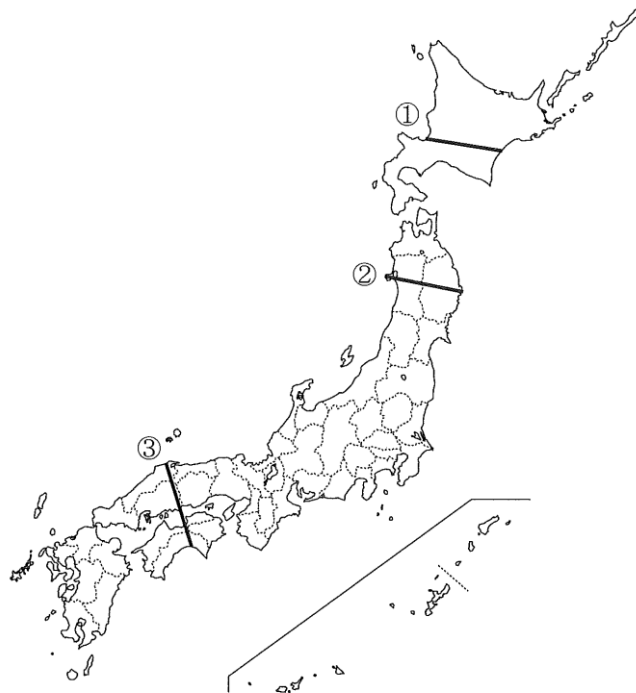


図1-2

強者の戦略

設問B

表1-1は、5つの県の土地利用についてまとめたものである。なお、可住地面積とは、総面積から林野面積と主要湖沼面積を差し引いた面積を意味する。また、 a は総面積1km²あたりの人口密度を、 b は可住地面積1km²あたりの人口密度をさす。

- (1) b/a の値が高い県のうち、和歌山県と高知県に共通してみられる地形的特徴を2行以内で述べなさい。
- (2) 高知県と香川県では、ある重要な資源をやりとりしている。資源の名称と、このようなやりとりが生じる理由を、この資源の供給と消費の両面から、あわせて3行以内で述べなさい。
- (3) 長野県と茨城県は、ともに農業生産の盛んな地域として知られており、レタスの生産量は全国1位と2位(2017年)であるが、出荷時期は大きく異なる。その理由を、地形的要因と経済的要因の両面から、あわせて2行以内で述べなさい。

表1-1

(2017年)

県名	総面積1km ² あたりの人口密度 a	可住地面積1km ² あたりの人口密度 b	b/a
長野	153	644	4.2
茨城	474	728	1.5
和歌山	200	848	4.2
香川	515	962	1.9
高知	101	614	6.1

総務省および農林水産省資料による。